

平成24年度 旭川水防演習の実施

平成24年5月27日(日)に岡山市中区西川原地先(旭川左岸河川敷)で、国土交通省中国地方整備局、岡山県、旭川流域の4市4町1村及び水防団、地域住民、関係機関等約1,200人が参加し、「平成24年度 旭川水防演習」を実施しました。

本演習は、旭川における洪水を想定し、情報伝達訓練・水防工法訓練・避難訓練・人命救助訓練等、実態に即した水防演習を行い、水防団員等の士気高揚を図り、水防工法技術の練磨に努めるとともに、地域住民の水防思想の普及啓発を図り、水防体制の万全を期することを目的に実施しました。

演習の概要

本演習は、大型台風の接近及び梅雨前線の影響による大雨により、旭川流域で水害や土砂災害が発生した想定で演習を実施しました。

- 水防団が主役の実践的な演習
 - ・ 実際の水防活動と同様に、土のう作りや堤防の「深掘れ対策工」、「斜面の崩れ対策工」等を実施
 - ・ 容易に水防工法が作製できるように工夫した「時代に即した水防工法」を中心に訓練を実施
- 行政や防災機関が連携する実践的な演習
 - ・ 行政・防災機関と水防団、住民との連携や情報伝達に重点を置いた演習
 - ・ 避難勧告や住民避難訓練など、行政機関と水防団との情報伝達や役割分担
 - ・ 陸上自衛隊や日本赤十字社等への支援要請など、行政と防災機関との連携
 - ・ 情報収集や人命救助救護など、防災機関同士の連携



開会式



国土交通大臣代理挨拶

演習の工夫

地元住民の参加を積極的に取り入れた演習

- ・ 岡山市からの避難情報の伝達や警察による避難誘導など、実態に即した住民避難訓練を実施
- ・ 住民が土のう作りや水防工法を水防団等の指導により体験できる演習を実施



地元就実大学の学生(放送文化部)によるアナウンス

- ・ 就実大学、就実短期大学の学生による水防演習進行アナウンスを実施

避難訓練者のための大型テント設営

- ・ 住民の方の避難場所として、大型テントを設営(イオンリテール株式会社のご協力)



FM放送による市民への緊急情報伝達

- ・ 岡山シティエフエム(レディオモモ)のご協力のもと、番組放送中に緊急割込放送を岡山市長が行い、市民への緊急情報伝達を実施

平成24年度 旭川水防演習の実施

■ 水防工法訓練

水防団が堤防の「深掘れ対策工」、「漏水対策工」、「水の溢れ対策工」を実施しました



■ 特別訓練

行政機関と防災機関との連携、防災機関同士の連携による情報収集や人命救助救護訓練等を実施しました

